



テーマ

2022年5月24日以降、すべての iCombi Pro、インデックスJはLM100-16.1.15ソフトウェアとともに納品されます。

ここでは、どのような変更が加えられたのか、あるいはどのような新規事項があるのかをお知らせいたします。

対象となる製品 / アクセサリー

- iCombi Pro

一般情報

お客様訪問の際には、新しいソフトウェア・バージョンをすべてのユニットでロードすることが求められます。

実施された変更または新規事項

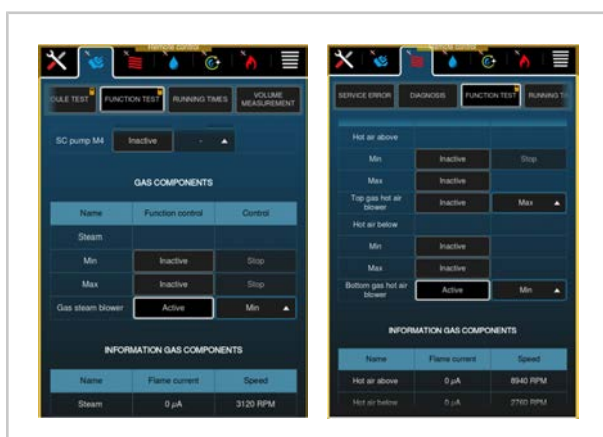
技術

トラブルシューティング

ユニット初回設置の際に、換気フード（UltraVent、UltraVent Plus、換気フード）が正しく初期化されなかった： 初回起動の際にiCombi Proが換気フードを検出し、これにアドレスを割り当てましたが、このアドレスのチェックと排気フードの制御のために、iCombi Proを2度スタートしなくてはいけませんでした。 アドレスの割り当てとチェックを1つのステップで実行できるように、このプロセスが変更されました。

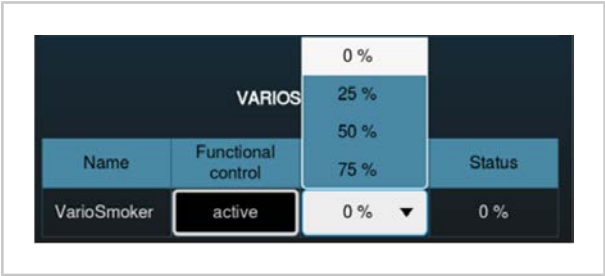
サービスメニュー

- スターター「サービス スチーム」とスターター「サービス ホットエアー」の機能テスト > ガスコンポーネントならびにガスコンポーネント情報で、機能テストの変更と拡張が行われました。



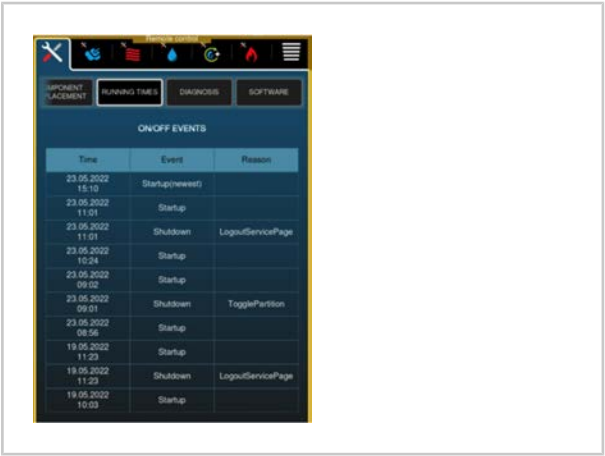
- スチーム加熱システムに加えて、ホットエアーシステムのテストも可能になりました。
- 全てのガスバーナーシステム（スチームとホットエアー）は、ドロップダウンメニューの代わりに、プッシュボタン（最大出力と最小出力が別々）を用いて制御されます。
- 点火プロセスなしでテストする際のガス排気モーターの制御が、25%段階ではなく、最大および最小回転速度での排ガス分析と同様に実行されるようになりました。

- 接続されているVarioSmokerのテストは、サービス「全般」>「基本設定」で行えます。これに際しては、VarioSmokerの「設定 > 調理システム」で「オン」にしてから、ユニットを再スタートする必要があります。



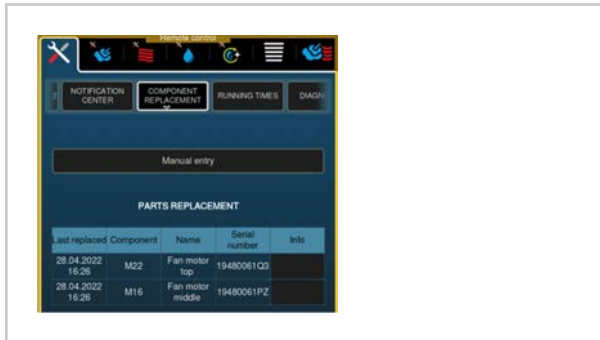
サービスメニューとサービスレポート

- ユニットの直近10件のスイッチオン / オフが、スイッチオフの時刻と理由とともに表示されます。
注記：「スタートアップ > スタートアップ > スタートアップ」を連続して表示できますが、スイッチオフのプロセスが欠けているように見えるので、一見つじつまが合っていないように見えます。ハードなスイッチオフ・プロセス（強制停止、停電）が認識されず、結果として「スタートアップ > スタートアップ > スタートアップ」となる場合があります。



12	System-OnOff-History	Time(desc)	Reason
12.1	Startup(newest).....	20220502100053	
12.2	Shutdown.....	20220502100047	LogoutServicePage
12.3	Startup.....	20220502095044	
12.4	Startup.....	20220502094736	
12.5	Startup.....	20220502093631	
12.6	Shutdown.....	20220502093222	LogoutServicePage
12.7	Startup.....	20220502091726	
12.8	Shutdown.....	20220502091127	Normal
12.9	Startup.....	20220502090818	
12.10	Shutdown.....	20220502090516	Normal

- バスコンポーネントの自動検出によるメンテナンス作業の文書化を目的としたコンポーネント交換履歴の明確化、拡張、簡略化（「I」 = 最初に組み込まれたコンポーネント、「M」 = マニュアル入力されたコンポーネントの交換、「A」 = 自動的に認識されたコンポーネント交換）。



Component-Replacement-History	Replacement Time	Service Note
A10 IO PCB.....	20220404132542	I SN(10193001033)
UV-A1 UltraVent PCB.....	20220404132542	I SN(2020- 3-19-361)
A13 Pump PCB.....	20220404132636	I SN(PC3-191022-11004403)
M22 Fan motor top.....	20220404132804	I SN(19480061PZ)
M16 Fan motor middle.....	20220404132804	I SN(19480061Q3)

- スターター「サービス ガスシステム」、スターター「サービス スチーム」、スターター「サービス ホットエア」 > 「稼働時間」では、ガスバーナーシステムの加熱時間が記録、表示されます。



7.27	Gas Valve Hot Air Top.....	35	0	h
7.28	Gas Blower Hot Air Top.....		0	h
7.29	Gas Valve Hot Air Bottom.....	35	0	h
7.30	Gas Blower Hot Air Bottom.....		1	h
7.31	Gas Valve Steam.....	32	0	h
7.32	Gas Blower Steam.....		1	h
7.33	Heating Time Hot Air Top.....		0	h
7.34	Heating Time Hot Air Bottom....		0	h
7.35	Heating Time Steam.....		0	h

- 最後のSCオートマチック以降のスチーム加熱時間も一緒に表示されます。

- エラー履歴には、ガスエラーが含まれます（リリースノートLM100-16.0.23を参照）。

Remote control

Service ERROR

GAS PARAMETERS

RUNNING TIMES

FLUE GAS ANALYSIS

Service number	First time	Last time	Number	Activity
Service 32.1	03.05.2022	11.05.2022	2	Reset
Gas fault 22	14:12	15:22		
Service 32.1	17.05.2022	17.05.2022	1	Reset
Gas fault 32	09:59	09:59		
Service 32.1			0	Reset
Gas fault 42				

6	Diagnostic-Service-History	First Time	Quantity	Last Time
6.32_1_22	Service <32_1_22>.....	20220503141234	2	20220511152216
6.32_1_32	Service <32_1_32>.....	20220517095900	1	20220517095900
6.32_4_20	Service <32_4_20>.....	20220511151613	1	20220511151613
6.34_1	Service <34_1>.....	20220503140822	11	20220517102803

サービスレポート

- 様々なステータスに関する新しい情報（例：拡張ボード「エネルギー最適化」と「4連リレー」、DHCPのオン / オフ、泡抑制のオン / オフ、制御モードのオフ / Eco / オン、接続電源電圧）、洗浄動作に関する情報（実行および推奨されるプログラムタイプ、承認または拒否されたアドバイス）。

1.30 Energy optimisation.....: false

1.31 Quadruple relay pcb.....: false

2.34 DHCP.....: true

2.37 MAC Address LAN.....: 00:30:D6:2B:DE:CA

2.38 MAC Address WiFi Module.....: 04:CA:6E:AF:6D:32

2.47 Foam reduction iCareSystem.....: 0

2.48 Control Mode (1: off, 2: eco, 3: on): 3

2.49 Installation voltage.....: ALL_OTHER_COUNTRIES

8.6 express

8.7 light eco with steam generator descale

8.8 light eco w/o steam generator descale

8.9 light with steam generator descale

8.10 light w/o steam generator descale

8.11 medium eco with steam generator descale

8.12 medium eco w/o steam generator descale

8.13 medium with steam generator descale

8.14 medium w/o steam generator descale

8.15 strong eco with steam generator descale

8.16 strong eco w/o steam generator descale

8.17 strong with steam generator descale

8.18 strong w/o steam generator descale

8.19 rinse without tabs

8.20 rinse

8.21 Clean Abort

10.10 recommended cleaning program used

10.11 recommended cleaning program explicitly not used

10.12 cleaning advices by dirt credits

10.13 cleaning advices by limescale credits

10.15 accepted after cleaning by dirt credits

10.16 accepted after cleaning by limescale credits

10.18 later after cleaning by dirt credits

10.19 later after cleaning advice by limescale credits

- 電圧、電力、温度、負荷範囲の値に基づいた統計的エラー検索のデータを含むヒストグラム。 例：

37

Histogram - Basis CPU Load (%)

Time

dim

37.1	Range 0 <= 10:.....	3534	min
37.2	Range 10 <= 20:.....	445	min
37.3	Range 20 <= 30:.....	19	min
37.4	Range 30 <= 40:.....	18	min
37.5	Range 40 <= 50:.....	50	min
37.6	Range 50 <= 60:.....	97	min
37.7	Range 60 <= 70:.....	15	min
37.8	Range 70 <= 80:.....	0	min
37.9	Range 80 <= 90:.....	5	min
37.10	Range 90 <= :.....	48	min

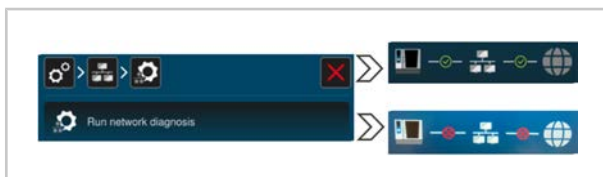
活用

- iProductionManager
チケットのコピー機能の改善、その結果として、総合的な計画の作成の簡易化。
- iCookingSuite
 - 「長押し」機能によって、調理プロセス後のホールドや表面仕上げなど、事前を選択した最終オプションを無効にすることが可能になり、知らないうちに操作ミスが発生することを防止。
 - 国別料理と調理パスがさらに調整され、料理上のそして言語的な要求に対応。

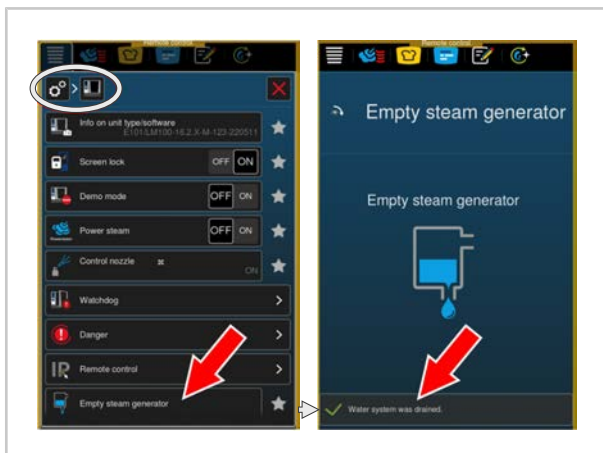
- マニュアルプログラム機能
マニュアルプログラムを作成するときにVarioSmokerを統合できるようになりました。この機能は、VarioSmokerの初回接続の際に自動的に有効化され、必要に応じて手動で無効化または再有効化することができます。
- iCareSystem
 - － 洗浄動作中に扉を開けると、警告音が発せられます。
 - － 「設定 > 洗浄」で、洗浄後にユニットを概してオフにすることができるようになりました（これまでは、各洗浄の際にのみ可能でした）。

一般事項

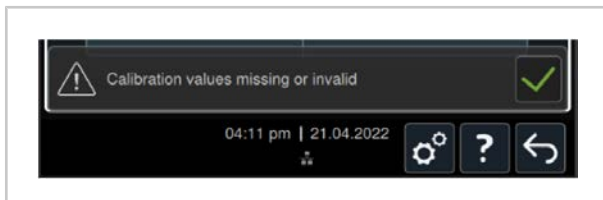
- まれに、「加湿」ボタンを有効化できなくなるということがありましたが、この動作が修正されました。
- 調理パス「Finishing / 燻製」では、扉を閉めた後に時間を調整することができませんでしたが、時刻がいつでも再設定できるようになりました。
- ディスプレイ上のメッセージの透明性が増し、その下の設定オプションが認識しやすくなりました。特に、調理プロセス開始時の、扉を閉じるようにというリクエストが、終了オプションの前に可能な設定オプションを覆っていました。
- ネットワークとConnectedCookingのアクセシビリティを確認するために、「設定 > ネットワーク設定」でネットワーク診断を実行できます。



- 「設定 > 調理システム」にある新機能「スチーム発生器を空にする」によって、スチーム発生器、洗浄ボックス、iCombi Proの水路を空にすることができます。これで、輸送上の要件（ケータリング業務など）または季節的な要件（スキー場レストランの夏季休業など）に対応できます。

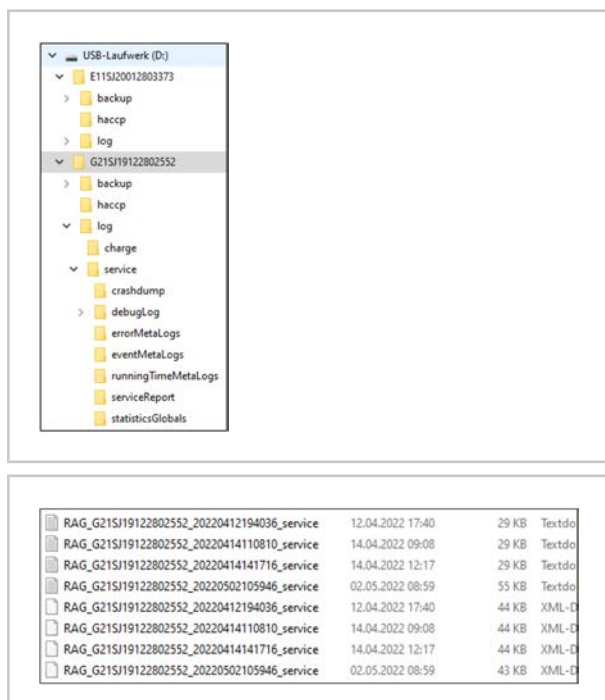


- － メニューガイドまたはこれに関する順序は以下ようになります。蛇口を締める > ハンドシャワーを操作する > スチーム発生器を自動的に空にする > 洗浄ボックスを空にする。
- － **重要：** この手順は、旧型のユニットラインの場合と同様、スチーム発生器の容積の新規測定には用いません！
- ユニットのキャリブレーション値が無い、あるいは無効の場合は、警告メッセージが表示されます。ユーザーはこれを確認する必要があります。その後調理することはできますが、仕上がりが不均一になることを計算に入れなくてはなりません。



- USBスティックへのデータエクスポート（「設定 > データ管理」）
 - － エクスポートアクションを起動すると、USBスティックに空き容量が十分残っているかがチェックされ、必要に応じて警告メッセージが表示されます。
 - － この機能を実行すると、USBスティックのファイル構造に、ユニットのシリアル番号が記載されたディレクトリ名が表示されます。このディレクトリでは、エクスポートされたすべてのデータが固有のサブディレクトリに保存されます。

後でさらにダウンロードが行われると、それらはすでに作成された適切なサブディレクトリに自動的にコピーされます。これまではすべてのファイルがUSBスティックのルートディレクトリに書き込まれていましたが、この時系列のシリアル番号ベースのファイリングによって、把握と比較がより容易になります。



- ヘルプページのドキュメントの更新。
- 2つのA11 CPUボードバージョンをサポートするためにファイルサイズが2倍になったため、バージョン 16.0.23 以降のユニットソフトウェアのダウンロードにはこれまでより大幅に時間がかかります。

新しいソフトウェアはどのようにして入手できますか？

- ソフトウェア・アップデートは、いつも通りRATIONAL-USBスティックを用いて実行できます。 アップデートを行うには、コンピューターをインターネットに接続し、RATIONAL-USBスティック上で「**RATIONAL-LoaderStarter.exe**」を起動してください。
- または、**RATIONAL**ポータルから、ソフトウェアパッケージを.zipファイルとしてダウンロードすることも可能です。
- iCombi ProがConnectedCookingと接続されている場合は、アップデートを自動的にユーザーにお知らせします（1週間程度遅れて配信される場合があります）。

お客様訪問の際には、新しいソフトウェア・バージョンをすべてのユニットでロードすることが求められます。